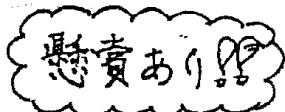


# 第13回 準中入試模試

時間は無制限!! 難しいけどじっくり考えて下さい!!

質問・採点はお気軽に受付までおこなって下さい。



① 次の条件を満たす  $2009$  の倍数で最小のものは  $\square$  である。

条件: いくつかつ連続して1桁ずつ整数を並べ変えた形にしている。ただし0は含まない  
(例: 2543, 6759など)

② 次の条件を満たす  $2009$  の倍数で最小のものは  $2009 \times \square$  をかけたものである。

条件: この数を7進法でみて、数の表示を10進法でみても  $2009$  の倍数である。  
(例:  $2434_{(10)} = 10045_7$  (だが、 $10045$  は  $2009$  の倍数))

③  $2009_{(10)}$  は「にせんきゅう」と読みが、この中に読まれている「にせん」と「きゅう」  
という2つの数を数字にかえて並べて書くと  $20009_{(10)}$  という数ができる。  
この操作に従うと  $1234_{(10)}$  は  $1000200304_{(10)}$ ;  $707_{(10)}$  は  $707_{(10)}$  になる。  
この操作を行ってできる数と元の数との差の値が6桁や7桁になる  
ような元の数として考えられるのは全部で  $\square$  個ある。  
(例:  $2009_{(10)} \rightarrow 20009_{(10)} \rightarrow 20009 - 2009 = 18000$  (だから5桁))

④ 1~96の数字が書かれた球がそれぞれ1個ずつあり、2つの整数  
 $M, N$  を1以上96以下にするようにとる。  
(ただし、 $M$  は  $N$  よりも大きいもつとする。)

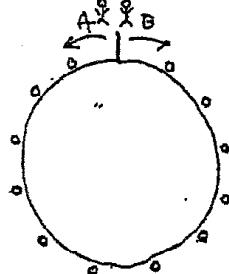
今、1~Mの数字が書かれたM個の球の中から、N個の球を  
選ぶような場合の数を考える。(これを  $nC_N$  とかくことにする。  
ただし、N個の球を選ぶ順番は問わない。)

こうとき、この場合の数  $nC_N$  の値が偶数になるような  
整数の組  $(M, N)$  は全部で  $\square$  組ある。

⑤ 1, 1, 2, 3, 5, 8, 13, 21, ... はアボナナ数列といい、どう數も直前の2つの数  
を足しておって等しい。

このとき、 $1 \times 1 + 1 \times 1 + 2 \times 2 + 3 \times 3 + 5 \times 5 + \dots + 2584 \times 2584 + 4181 \times 4181 = \square$   
(ただし、1, 1, 2, 3, 5, ..., 2584, 4181はアボナナ数列である)

- 6 右図のような1周 $1300\text{m}$ の円形の歩道があり、A,Bの2人がスタート地点に立っている。今、円周の13等分点うち、スタート地点を除く12カ所にボールが置かれており、AとBはともに毎秒 $1\text{m}$ で同時に反対方向へ歩き始めて、2人ともビーボールを拾ってもらおうが、拾って瞬間に反転して同じ速さで歩く。また、ボールを拾ってから歩道を1周するまでに新しいボールを拾わなければならぬ。こっとう、AとBが再び出会うのは最長でも、スタートしてから  $\boxed{\quad}$  秒後である。



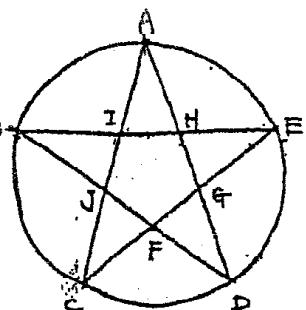
- 7 1~6の整数が1つずつあり、適当に積一列に並べる。そっとうに並べ方は $6!$ 通りあるが、以下、操作を $6!$ 通り全て並べ方に對して何度も行うて全て並べを $123456$ にしてい。

操作：隣り合う2つの数をひっくり返す。

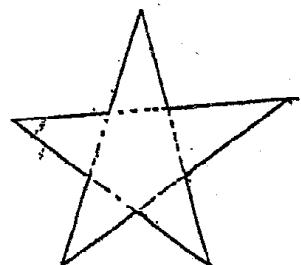
(例： $214365 \rightarrow 124365 \rightarrow 123465 \rightarrow 123456$  で「 $214365$ 」に対しては3回)  
こっとう、最も少なくて $\boxed{\quad}$ 回操作を行ふことになる。

- 8 右図のような遊歩道があり。

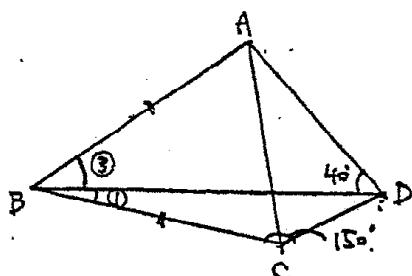
AB, BC, CD, DE, EA間の距離はすべて $4\text{m}$ 。  
AH, AI, BI, BJ, CJ, CF, DF, DG, EG, EH間の距離はすべて $3\text{m}$ 。  
FG, GH, HI, IJ, JF間の距離はすべて $2\text{m}$ である。  
Aから出発してB~J各頂点を1度だけ通って再びAに帰ってくる  
ような道順うち、道のりが最も短いものは全部で $\boxed{\quad}$ 通りある。



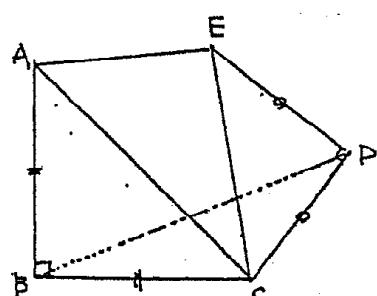
- 9 右図のような星形+角形があり。辺の長さは全て整数値であり、全て長さは異なる。(単位は $\text{cm}$ )  
こっとうもうち、辺の長さの総和は $\boxed{\quad}$ cmで  
もつが最小である。



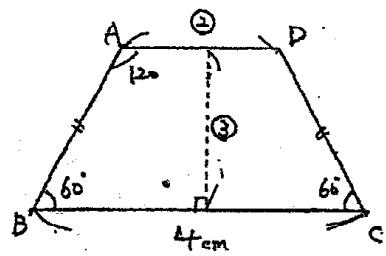
- 10 右図で、 $\angle ABD : \angle DBC = 3:1$   
 $\angle ADB = 40^\circ$ ,  $\angle BCD = 150^\circ$   
 $AB = BC$  とする  
 $\angle DAC = \boxed{\quad}^\circ$  である。



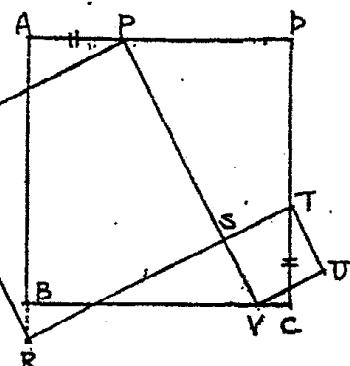
- 11 右図で、 $\triangle ABC$ ,  $\triangle CDE$ とともに直角二等辺三角形である。  
 $BD = 13\text{cm}$ ,  $CD = 7\text{cm}$ である。また、 $\angle ACE = 20^\circ$ とする。  
こっとう、五角形ABCDEの面積は $\boxed{\quad}\text{cm}^2$ である。



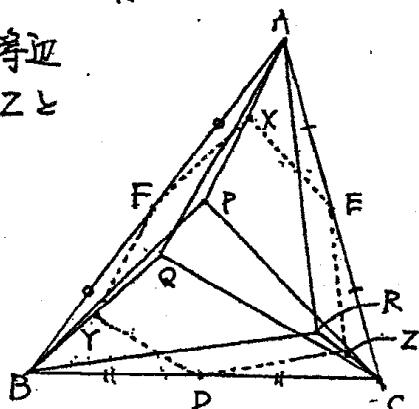
- 12 右図で、四角形ABCDは $AB=DC$ の等脚台形で、 $\angle ABC = \angle BCD = 60^\circ$ ,  $BC = 4\text{cm}$ ,  $AD$ と $BC$ の距離が $AD$ 長さの1.5倍のとき。四角形ABCDの面積は  $\square \text{ cm}^2$  である。



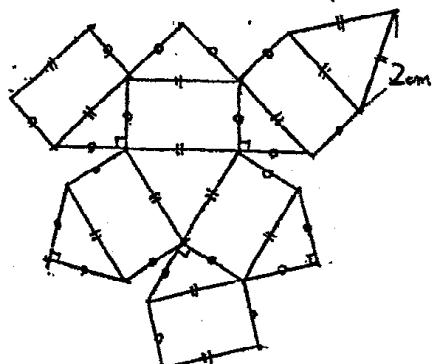
- 13 右図のように3つ正方形が組み合って、下図形があり。 $AP=TC$ 、正方形PQRSの面積が $1260 \text{ cm}^2$ 、正方形STUVの面積が $140 \text{ cm}^2$ のとき、正方形ABCDの面積は  $\square \text{ cm}^2$  である。



- 14 右図で、 $\triangle PBC$ ,  $\triangle QCA$ ,  $\triangle RAB$ はどれも直角二等辺三角形であり。 $AP$ ,  $BQ$ ,  $CR$ の中点をそれぞれX, Y, Zとすると。 $DX = 14\text{cm}$ ,  $EY = 15\text{cm}$ ,  $FZ = 13\text{cm}$ となる。 $\triangle XYZ$ の面積は  $84 \text{ cm}^2$  である。  
六角形DZEYFXの面積は  $\square \text{ cm}^2$  である。  
(D, E, Fはそれぞれ各辺の中点)



- 15 右図のように正三角形と直角二等辺三角形と長方形からなる展開図を組み立ててできる立体の体積は、1辺1cmの正四面体の体積の  $\square$  倍である。



解 答 欄	①	②	③	④	⑤
	個	組			
	6	7	8	9	10
	秒後	回	通り	cm	度
	III	IV	V	VI	VII
	cm <sup>2</sup>	cm <sup>2</sup>	cm <sup>2</sup>	cm <sup>3</sup>	倍

## 作問者

田大山 田大山 田田中 田西川 田村上 田西川 田黒住 田山下

田三谷 田西川 田中村 田北村 田中村 田西川 田廣田

みんな協力ありがとう!!

こっ灘中入試模試は今年で第13回、去年度までこっ企画を担当されていて  
関典史氏が卒業され、私が引き継がせて貰ってくださいました。

さて、こっ企画は“灘中入試模試”という名前がついていますが、正直言って、  
入試よりはるかに難しいです。スピード×処理能力を求めてる入試に比べて、  
こっ企画では「問題の質、味わい深さ」を重視しています。中学生以上  
の予備知識がなくても、面白い問題はできるんだ! ということを感じていて  
なければこれ以上のことはありません。くれぐれも、「灘中入試模試」という  
ネーミングに引きずられず、よろしくして下さいね。

前述したように、こっ入試模試は、算数の面白さを伝えて!! という思いで  
作っています。ですから、時間制限もありません。1問に何十分、何時間  
でも考えて、考える楽しさ、解けたときの喜びを味わって下さい!!

各問へのコメント(あんまりヒントにはなってませんが…)

① “2009年”問題が2問です。田ちなみに、 $2009 = 7 \times 7 \times 41$  ですね

② ユニークな設定です。丁寧に調べましょう。田ヒントは〇〇〇〇→三角形です。

⑤ これはとても繊麗な性質です。まずは少しあれて実験しよう

⑥ いろいろ遊んでみて下さい。田このままで考えにくいで、条件をうまく書き換えて下さい。

⑧ はじめて取っ掛かりが肝心です。“最短”と言っていますが、実は…?

⑨ つかみどころがない問題です。こういったは個人的に好み

⑩ 3:1をうまく利用して下さい。田いろいろやってみましょう。繊麗に解けます。

⑪ とても巧妙なやり方があります。問題は2:3をどう処理するかですが…

⑫ いろいろ補助線を引いてみて下さい。田中点がとても多いのがポイントです。

⑯ ここまでにはイメージづらいです。何かに埋め込んでから分割したり、…

★ 採点、質問は、文化祭中は受付まで。文化祭終了後は郵送かメールで  
お願ひします。お待ちしております!!

〈郵送〉返信用の切手を同封して下さい。

〒658-0082 神戸市東灘区魚崎北町 8-5-1  
灘校数学研究部

〈メール〉 nada-suken@hotmail.com

★ 数研HP(入試模試の過去問もあります)

<http://f59.aaa.livedoor.jp/~nadamath/>

TEL +-----